

地域の安全と安心を守る

大口町消防団

大口町消防団の歴史

明治初期、各集落で木造箱型の竜吐水が備えられ、火災警備の強化の組織づくりと共に、消防組織の基となる「消防組」が設置されました。

明治25年ごろ、各集落で腕用消防ポンプを購入。20歳から40歳前後の男子が各家庭から1人ずつ消防組に加入し、万々に備えると同時に、地域の安全に努めました。

昭和23年3月に施行された消防組織法によって大口町消防団が自治消防となり、今年で73年目を迎えます。

現在は、9分団と予防啓発団員の構成で、総勢89名の組織となっています。



明治初期の大口消防組半てん



防火腕用ポンプ



大口町消防団の 主な活動

消防団任命式

任命式は毎年、大口町役場の公室で執りおこなわれ、分団長をはじめとする分団役員は、消防団長より任命されます。



消防ポンプ基本操作訓練

実践操法訓練

水防訓練

水防訓練（尾張水害予防組合主催）は、台風・大雨等による水害時に迅速・的確に対応できるよう訓練します。



大口町小型ポンプ操法大会

消防ポンプ中継訓練

火災予防町内啓発

消防観閲式

11月 8月 6月

5月

4月

地域防災の中核を担う消防団員の日頃の訓練の成果を披露するとともに、消防職員・団員の士気高揚を目的におこないます。防



高まる消防団の重要性

消防団は、その地区の人たちで構成され、年齢や職業の違う人たちが「自分たちの町は自分たちで守る」という気持ちで活動しています。

ひとたび建物火災が起きると、職場や家庭から駆けつけ、丹羽消防署と連携して消火活動や火災現場周辺の交通整理をおこないます。消防職員は鎮火を確認すると、次の火災に備え帰署す

るため、消防団員は残火処理をおこなうこともあります。

その他、災害時には救助活動、平時には各種訓練、また、行方不明者が出た場合は、役場町民安全課と連携して捜索します。

ここ数年、日本各地で地震や豪雨災害などの大規模災害が発生しています。こうした災害時は、消防団をはじめとする地域の力が一番大きかったといわれています。

消防団が持つ、「地域密着性（地域に詳しい）」、「日頃の訓練で災害時の技能・知識を習得している」という特性は、災害時に大きな力を発揮すると、改めて消防団の重要性に注目が集まっています。

新入団員を募集しています

消防団は地域の防災に欠



消防団 車庫マップ

かせない存

在ですが、大口

町消防団は、現在、団員の高齢化と減少が課題となっています。地域

によっては団員が少ないところもあります。ライフスタイルが昔と比べ変化していることが原因なのかもしれません。

団員の確保は地域防災力の向上に欠かせません。安全安心な郷土をつくるため、皆さんの入団をお待ちしています。

消防団は、非常勤特別職の地方公務員です。入団資格は、年齢18歳以上で大口町に居住している人であれば入団できます。

問合せ先 町民安全課

☎95-19666

令和2年度（4月）消防団員数

	幹部	予防啓発員	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野	上小口	中小口	下小口	合計
人数	3人	10人	9人	4人	6人	11人	10人	9人	10人	7人	10人	89人
平均年齢	53.3歳	48.3歳	38.7歳	36.8歳	41.2歳	36.5歳	38.3歳	39.3歳	40.0歳	38.4歳	34.3歳	39.7歳

1月 12月

年末夜警

炎りターとして活動している消防団の姿をぜひご覧ください。



丹羽郡消防出初式

一年の無災害を祈念するとともに、消防職員・団員の士気を高め、住民の皆さんに防災・防災の意識を高めてもらう目的で毎年実施しています。徒歩部隊と車両部隊から成る行列行進、消防ポンプによる一斉放水などをおこないます。



3月

園児防火パレード



※令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、一部の行事を中止しました。



とび口を構える姿勢



消防ホースの展張



消防団の団結力の源 「小型ポンプ操作」

消防団は平時、小型ポンプ（可搬ポンプとも呼ばれ、持ち運びできる大きさの消防用ポンプ）の取り扱いや操作の手順を習得する操作訓練をおこなっています。

毎年6月、操法大会が町民会館駐車場でおこなわれ、日頃の成果を発揮します。競技は、「放水始めッ！」の号令から少しでも早く消防ホースをのぼし標的（火点）に放水、的確に倒すまでのタイムを競います。

その他、各番員ごとに審査員（消防署職員）がつき、消防操法の基準と消防訓練礼式の基準に基づき、「既定の線をはみ出していないか」「キレイな姿勢か」「器具の操作は適切か」など多くの箇所を入念に審査されます。指先が曲がっていたり開いていたり、足が揃っていないなどたりすると減点になります。町の操法大会は4名の団員で構成

- ▽指揮者（全体の指揮・号令等）
- ▽1番員（消防ホースの展張等）
- ▽2番員（吸管の伸長やとび口搬送等）
- ▽3番員（送水のためのポンプ操作等）



①



②



③



④



⑤

昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止になりましたが、今年度は6月13日（日）（少雨決行）午前9時30分から、町民会館第1駐車場（役場前）で開催予定です。

各地域の消防団員たちの勇姿、そして訓練の成果をぜひご覧ください。

地域のために： その思いが防災力に

消防団の活動は消防訓練だけでなく、各種行事に積極的に参加するなど、地域に密着したさまざまな活動は多岐にわたります。

消防団と一緒に、災害に強い地域づくりにつなげて、防災力の向上に努めましょう。

①・③五条川自然塾に参加する消防団員 ②南地域自治組織の「学ぼうさい」で災害時の食器作りを教える予防啓発団員 ④北地域防災訓練に参加 ⑤丹羽郡消防出初式 分列行進